

## 第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年9月25日(木) 5校時  
児 童 男子 8名 女子20名 計28名  
指導者 小 山 田 誠 幸

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう  
教材名 ニュース番組作りの現場から(説明的文章)  
工夫して発信しよう

### 2 単元について

第5学年および第6学年の「読むこと」領域の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。本単元では、「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること」(オ)を主たる目標としている。

本教材は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた文章である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方等がわかりやすく整理されている。その点で、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。また、ニュース番組についての興味・関心を背景に、情報活用についての視野を広げることや、自らが発信者となるために「特集」の制作過程を読み取ることなど、目的をもって読み取る学習にも適切な教材であると考えられる。

児童はこれまで、1学期の「サクラソウとトラマルハナバチ」を教材とした単元で、説明的文章の構成や文末表現などに着目し、段落ごとの内容を読み取ることによって要旨をとらえ、さらに筆者の主張について自分の意見をもつ学習をしてきている。

説明的文章を読むにあたり、児童は段落ごとの要点やおおよその文章構成は把握できているが、筆者の考えを意識し、書かれている内容をとらえることはまだ十分とはいえない。発言の様子については、気付いたことを発表することは多いが、友達の発言を受けてさらに自分の考えを膨らませたり、筆者の考えに対する自分の意見を持ちながら読んだりするという点についても不十分である。

児童の国語科に対する意識を見ると、読書が好きであると答えた児童は多い。授業中話をよく聞き、学習の仕方が分かり友達の意見を自分の考えと比べて深めようとする気持ちはあるが、自分の考えを進んで伝えようとする児童の意識には差が大きい。国語の学習が楽しいという児童の割合も多いとはいえない実態も見られるため、学習活動に対する意欲付けを図る手だてを取り入れながら授業を進める必要がある。

指導にあたっては、単元のゴールを明確にし「情報の発信」という目的を意識させながら、学習を進めていきたい。そこで、時間の流れが意識できるよう、文章構成を意識させ、教材文全体を見通して読み取る活動や、番組作りの過程に合わせ大事な点に気を付けて正確に読み取らせるようにしたい。そして、制作者がどのような願いをもち、そのためにどんな努力や工夫をして番組作りを行っているかを押さえた上で筆者の主張を実感させ、要旨をまとめるようにしていきたい。これらの手順をふまえ、視聴覚教材やワークシートの活用を図り、後の「工夫して発信する」の学習につなげていきたい。また、学習方法として、話し合いで互いに考えを交流する中で、ものの見方や考え方をひろげていく機会を意図的に用意していきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・ テレビニュースの「特集」がどのように作られているかに関心をもち、ニュース番組作りの過程を追いながら、制作方法や発信者の願いなどを読み取ろうとする。

#### (2) 読むこと

- ・ 目的に応じて文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえることができる。(読 イ)
- ・ 情報を得るため、必要な事柄を時間の順序に従って段階ごとに読み取ることができる。(読 オ)

#### (3) 書くこと

- ・ 編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理することができる。(書 イ)
- ・ 集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝えることができる。(書 エ)

#### (4) 話すこと・聞くこと

- ・ 自分の伝えたいことや意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉遣いで話すことができる。(話・聞 ア)

#### (5) 言語についての知識・理解・技能

- ・ 文や文章には、いろいろな構成があることについて理解することができる。(言 オ(ア))
- ・ 語句の構成(複合語)について、理解を深めることができる。(言 ウ(イ))

### 4 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度                             | 読む能力   | 書く能力   | 話す・聞く能力  | 言語についての知識・理解・技能                                       |
|--|--|--|--|---|
| ・ ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。 | ・ 目的に応じて、段落ごとに整理して、要旨をまとめている。<br>・ 時間の順序に従い、段階ごとに大事なところを読み取っている。 | ・ 目的や相手を意識し必要ある事柄を整理して書いている。<br>・ 集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書いている。 | ・ 自分の伝えたいことや知って考えてほしいという願いが伝わるように、組み立てを工夫しながら発信している。 | ・ 文の構成に着目し、筆者の述べ方の工夫をとらえている。<br>・ 複合語の構成と意味について調べている。 |

### 5 単元の指導計画(14時間 読7時間 書5時間 話・聞2時間)

| 段階         | 時数      | 主な学習内容  | 評価規準と評価方法  |
|------------|---------|---|--|
| 第一次<br>見通す | 1       | ・ 学習のゴールは、自分たちで知らせたいことの情報発信し、交流会をもつことだと知らせる<br>・ 全文を読み、初めて知ったことや興味をもったことを書き、感想を話し合う。<br>・ 重要語句や文末表現に着目しながら、おおよその文章構成をつかむ。 | 関 「ニュース番組作りの現場から」の内容について興味をもち、進んで感想を発表したり読んだりしようとしている。(発言・観察)<br>読 全文を読み、筆者が述べている内容を大まかにつかみ、感想を持っている。(ノート・発言)<br>読 「話題提示」→「番組作りの過程」→「まとめ」のおおよその文章構成をつかんでいる。(発言・観察) |
|            | 2<br>本時 | ・ 「特集」ができるまでの過程に着目し、文章全体の段落構成をつかむ。  | 関 特集が放送されるまでの過程に興味をもち、読もうとしている。(発言・観察)<br>読 まとめの段落をもとに、「特集」ができるまでの過程に着目し、②～⑩段落の段落分けをしている。(発言・ワークシート)   |

|             |                          |   |  |
|-------------|--------------------------|---|--|
| 第二次<br>深める  | 3                        | ・番組作りの話題選びや取材のときの大事なことを読み取る。            | 関 番組づくりの話題選びや取材の大事なことに興味をもって読もうとしている。(発言・観察)<br>読 文章構成を把握した上で、②③④⑤⑥段落の要点をとらえている。(発言・ワークシート)                |
|             | 4                        | ・番組作りの撮影や編集・原稿づくり・放送の大事なことを読み取る。        | 関 番組づくりの撮影や編集・原稿づくり・放送の大事なことに興味を持って読もうとしている。(発言・観察)<br>読 筆者のまとめと関連づけて⑦～⑩段落の要点をとらえている。(発言・ワークシート)           |
|             | 5                        | ・番組を担当するスタッフの努力や願いを各過程の大事なところから読み取る。    | 関 いい報道をするための各過程から学ぶことは何か考えながら読もうとしている。(発言・観察)<br>読 番組作りの各過程で大事なことから、番組作りへのスタッフの努力や願いを読み取っている。(発言・ワークシート)   |
|             | 6                        | ・デスクになったつもりで、インタビューや撮影の仕方について、企画書をまとめる。 | 関 目的意識や相手意識を明らかにして企画書を作り上げようとしている。<br>読 読み取ってきたことをもとに、目的にかなった企画書をまとめている。(ワークシート)                           |
|             | 7                        | ・読み取りを生かした企画書を発表し、取材目的が生かされているか話し合う。    | 関 自分の企画書と比べながら他の人たちの企画書の内容を聞き比べようとしている。<br>読 取材目的が生かされている企画書のインタビューや撮影の仕方になっているか話し合っている。(発言・観察・ワークシート)     |
| 第三次<br>まとめる | 8<br>・<br>9              | ・情報発信の手順を確かめ、グループごとに企画書をつくる。            | 関 企画書を作るための企画会議で目的を意識した話し合いをしようとしている<br>書 情報発信の願いをもち、目的に沿った企画書を書いている。(企画書)                                 |
| 第四次<br>ひろげる | 10<br>・<br>11<br>・<br>12 | ・計画に従い取材し、編集する。                         | 関 目的に応じて、必要な材料を集めようとしている。<br>書 取材したことを目的に合わせて整理・編集し原稿を書いている。(原稿・観察)  |
|             | 13                       | ・情報を発信し、発信側と受信側の感想を交流する。                | 関 情報の発信の仕方や内容について、工夫している点のよさを中心に交流しようとしている。<br>話・聞 伝えたいことの意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉遣いで話し合っている。(発表・聞き方) |
|             | 14                       | ・交流会の自己評価をし、情報の発信や受信の大切なところを話し合う。       | 関 情報と自分の関わりについて考えを深めようとしている。<br>話・聞 情報の発信と受信の大事なところによって評価している。(評価カード、観察)                                   |

6 本時の指導

(1) 目標

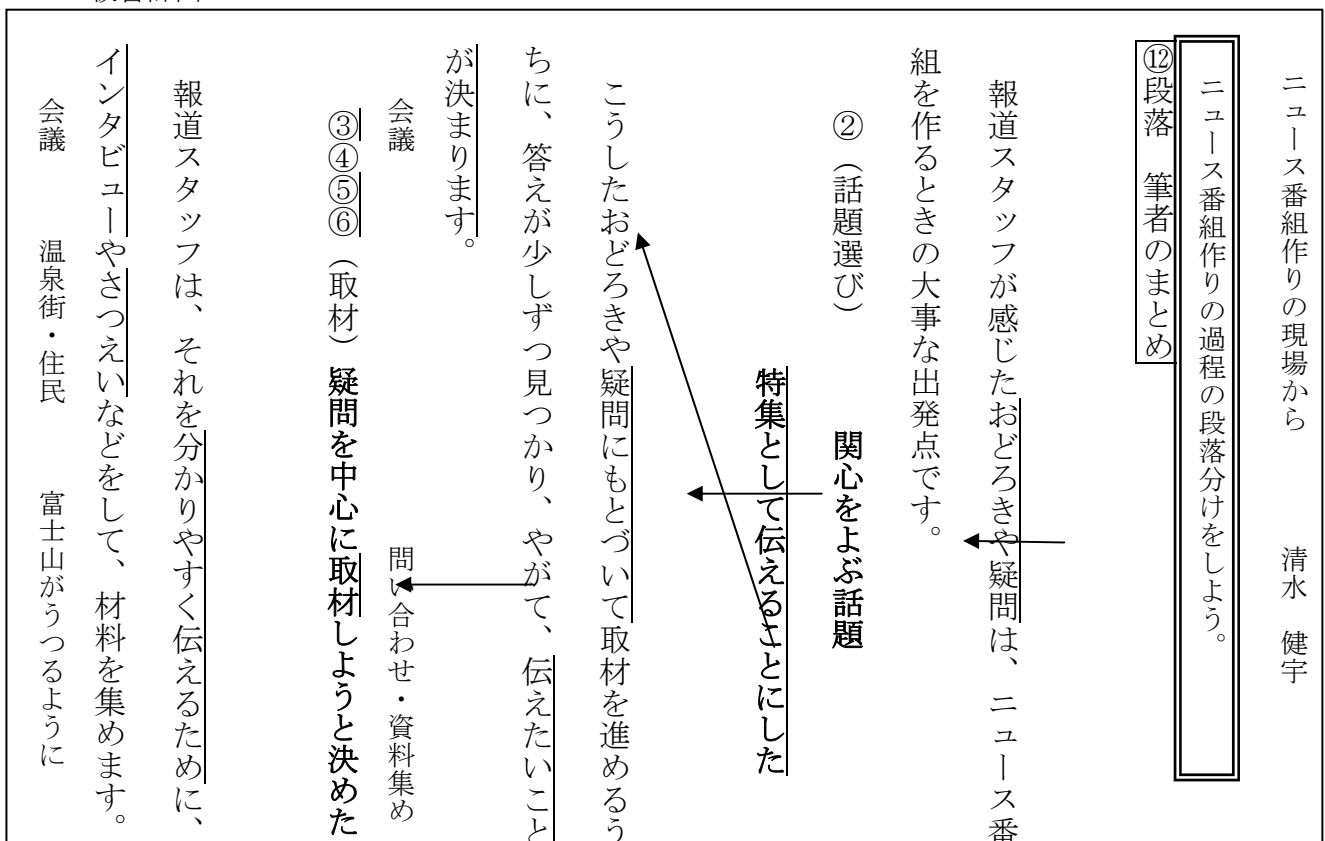
筆者のまとめの段落の中心語句をもとに、「特集」ができるまでの過程に着目し、②～⑪段落の段落分けができる。

(2) 展開

| 段階         | 学習活動 ○主発問   | 教師の働きかけと予想される反応  | 個への支援と評価の観点 (方法)<br>・留意点   |
|------------|---|--|--|
| つかむ<br>5分  | 1 前時を想起する。<br><br>2 本時の学習課題を把握する。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     ニュース番組作りの過程の段落分けをしよう。                 </div> | 1 「話題提示」→「番組作りの過程」→「まとめ」のおおよその文章構成を確認する。<br>2 学習課題を提示する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>紙板書を用いて想起させる。</li> <li>番組作りの過程を詳しく読み取る必要があることを知らせる。</li> <li>本時の課題は②～⑪段落の段落分けであることを確認する。</li> </ul>   |
| 考える<br>18分 | 3 本時の学習場面を音読する。<br><br>○⑫段落は、文章構成でいうとどんな役割を持っていますか。<br><br>4 番組作りの過程(②～⑪段落)を段落分けする。<br><br>○1つめの文はどの段落のまとめですか。<br><br>○他の3つの文はどの段落とつながりがありますか。段落番号とその理由を書きましょう。(一人学び)                                 | 3 ⑫段落を読み、4つの文で構成されていることを確かめさせる。<br>・筆者のまとめ<br><br>・②～⑪段落を指名読み<br><br>4 ⑫段落の4つの文と結びつきの深い段落を読み取る。<br><br>・②(話題選び)<br>・理由⑫おどろき→出発点<br>②おどろき→関心→話題決定<br>・ワークシートを配布する。<br>・2つめ・・・③④⑤⑥(取材)<br>・理由⑫もとづいて取材→③④<br>伝えたいことが決まる→⑤⑥<br>・3つめ・・・⑦⑧(撮影)<br>・理由⑫分かりやすく伝えるために材料集め(インタビュー・撮影)<br>・4つめ・・・⑨⑩⑪(編集、原稿、放送)<br>・理由⑫知らせるねうちがある<br>知って考えてほしい<br>→⑨疑問への答え(編集)<br>⑩工夫(原稿)<br>⑪最も伝えなかったこと(放送) | 評 筆者のまとめの段落だと理解しているか。(挙手・発言)<br>・⑫段落は、筆者のまとめで、4つの文1つひとつに別の内容がそれぞれ書かれて構成されていることを全員に理解させる。<br>・読みの順番は決まっているので、苦手な児童には事前に読み方を指導しておく。<br>・発問によって見つけ方の方法の一つを知らせ、関わる語句の有無だけで判断しないことに気づかせる。<br>評 特集が放送されるまでの過程に興味をもち、読もうとしている。<br>支 ③は何のための会議か、④は何の仕事か、⑤⑥は何をして分かったことを書いているかを考えるように助言する。<br>支 ⑦は何に向けた会議か、⑧は何の仕事のことを書いているか助言する。<br>・全員が文章構成の理由を理解した上で要点把握に進ませる。<br>・ニュース番組作りの順序に沿って各過程ごとに役割や大事なことをまとめられる表形式のワークシートを用意する。<br>支 ワークシートの記入の仕方が分からない子を巡回指導する。 |

|   |                                |   |  |
|---|--------------------------------|---|--|
| 深める<br>17分  | 5 一人ひとり考えたことを班で話し合う。<br>(学び合い) | 5 6つの班ごとに自分たちの考えとして意見をまとめる。<br>・司会者の意見を原案として話し合いを進めさせる。 | ・段落の分け方の理由に着目させ意見の違いを整理させる。<br>・司会者には、話し合いの進め方を事前に確認させておく。 |
|   | ○話し合ったことをもとに、段落分けを發表しましょう。     | ・發表を整理し、板書していく。   | ・⑫段落の4つの文は、番組作りのどの過程のことか明らかにする。                            |
| <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>具体の評価規準</p> <p>A：より適切な理由付けで、段落分けをしている。</p> <p>B：理由付けをして、段落分けをしている。</p> <p>Cへの支援：段落が番組作りどの過程と結びついているか考えさせる。</p> </div> |                                |   |  |
| まとめる<br>5分  | 6 本時の学習をまとめる。                  | 6 本時の学習を振り返らせ、学びを確かめる。<br>・学習範囲を音読する。<br>・感想を發表する。      | ・音読の仕方や感想の内容の良さを指摘していく。                                    |
|   | 7 次時の学習について確認する。               | 7 次時の学習内容を伝える。<br>・次時は各過程の大事なことを読み取っていくことを確かめる。         | ・次時の学習は本時の学習を生かして段落を区切って学習していくことを確認する。                     |

## 7 板書計画



構成の要素

| III 筆者のまとめ  | II 特集として取り上げられる過程   |  |   |  |   |   |  |  |  |  | I 話題提示   | 構成   |  |
|---|---|--|---|--|---|---|--|--|--|--|--|--|--|
|   | 結論  | 放送   | 原稿  | 編集   | 撮影  | 企画会議2   | 取材で分かったこと  |  | 取材   | 企画会議1  | 話題選び   |  | 話題の提示  |
|   |   | 当日   |   | 二日前  |   | 八日前   |  |  | 十六日前   |  |  |  |  |
| ⑫   | ⑪   | ⑩  | ⑨   | ⑧  | ⑦   | ⑥   | ⑤  | ④  | ③  | ②  | ①  |  |  |
| <p><b>筆者のまとめ</b></p> <p>報道スタッフは、おどろきや疑問にもとづいて取材を進めるうちに、伝えたいことが決まります。報道スタッフは、それを分かりやすく伝えるために材料を集め、その中から見て人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また、知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っているのです。</p> | <p>あるニュース番組で、防災訓練が特集として取り上げられるまでの過程をみてみましょう。</p>              | <p>事件や災害、政治や経済の動き、スポーツ、気象情報</p> <p>テレビのニュース番組では、ニュースがいち早く伝えられ、多くの人が関心を持ちそうな話題・関心をもってもらいたい話題</p> <p><b>特集を取り上げることもある。</b></p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p>                            | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p>        | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p>                            | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>中心語句・重要語句など</p> <p>いち早く</p> <p>関心</p> <p>話題</p> <p>特集</p> <p>防災訓練</p> <p>過程</p> |
| <p>報道スタッフは、おどろきや疑問にもとづいて取材を進めるうちに、伝えたいことが決まります。報道スタッフは、それを分かりやすく伝えるために材料を集め、その中から見て人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また、知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っているのです。</p>                      | <p>富士山の噴火に備えた訓練が多くの人に関心をよぶ話題だと考えて、ニュース番組の中で特集として伝えることにした。</p> | <p>デスクは、初めてのこと・おどろき</p>  | <p>デスクとディレクターとアナウンサーの三人で、なぜ富士山の噴火に備えた訓練がこれまでなかったのか(疑問一)、なぜ訓練をすることになったのか(疑問二)を中心に取材しようとした。</p> | <p>取材でもっとも大切なのは正確さなので、だれに聞いた話でも、他の人や資料で確かめる。(ディレクター・・・取材)</p>      | <p>住民の間にあまり危機感がなかったことや観光客に不安をあたえてしまうという地元の住民感情から県の人たちも防災訓練にふみ切れないかった。</p> | <p>住民は、富士山が現在も活動中の火山であることを知ったり、有珠山の噴火で訓練の大切さを学んだことにより、県は住民の理解が得られると判断して、噴火に備えた訓練をすることにした。</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>なぜ 報道 訓練の大切さ 住民の理解 のです</p> <p>取材結果 会議 ビデオ映像</p>                                 |
| <p>報道スタッフは、おどろきや疑問にもとづいて取材を進めるうちに、伝えたいことが決まります。報道スタッフは、それを分かりやすく伝えるために材料を集め、その中から見て人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また、知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っているのです。</p>                      | <p>富士山の噴火に備えた訓練が多くの人に関心をよぶ話題だと考えて、ニュース番組の中で特集として伝えることにした。</p> | <p>デスクは、初めてのこと・おどろき</p>  | <p>デスクとディレクターとアナウンサーの三人で、なぜ富士山の噴火に備えた訓練がこれまでなかったのか(疑問一)、なぜ訓練をすることになったのか(疑問二)を中心に取材しようとした。</p> | <p>取材でもっとも大切なのは正確さなので、だれに聞いた話でも、他の人や資料で確かめる。(ディレクター・・・取材)</p>      | <p>住民の間にあまり危機感がなかったことや観光客に不安をあたえてしまうという地元の住民感情から県の人たちも防災訓練にふみ切れないかった。</p> | <p>住民は、富士山が現在も活動中の火山であることを知ったり、有珠山の噴火で訓練の大切さを学んだことにより、県は住民の理解が得られると判断して、噴火に備えた訓練をすることにした。</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>取材結果をもとに、スタッフは、本番の放送で使うビデオ映像として、だれにインタビューするか、どこをさつえいするかを決めた</p> | <p>必ずしもくでない ふうみ切れない のです</p> <p>取材 防災担当者 観光業者 正確さ</p>                               |

要旨

毎日の出来事が、さまざまな手段によって大勢の人に伝えられるものをニュースという。テレビのニュース番組では、いち早くその出来事が伝えられるが、多くの人が関心を持ちそうな話題、関心を持ってもらいたい話題を特集として取り上げることがある。ニュース番組作りの現場では、報道スタッフがおどろきや疑問にもとづいて取材を進め、伝えたいことを決めている。そして、それを分かりやすく伝えるために材料を集め、その中から見て人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っているのである。